

令和3年度四国森林・林業研究 発表会開催

令和3年1月19日(水)、令和3年度四国森林・林業研究発表会をWeb形式により開催いたしました。

今年度の発表は、一般発表では、森林管理局等から9課題、教育機関から2課題、特別発表では、試験研究機関等から2課題の合計13課題について、それぞれの現場で取り組んだ研究成果が発表されました。

審査委員長より、「研究発表会の研究期間は長短あれど、最初に抱いた課題に対する疑問について、着実にデータを収集・分析し、一定の成果を導いておられ、大変強く感じました。これからも様々な課題解決に向け、そのチャレンジ精神を遺憾無く発揮し、日本の森林、林業の牽引者として活躍いただきたい」と、また地域に還元していただきたいと期待しています。」と講評をいただきました。審査の結果、受賞課題については、裏面のおりです。受賞者の皆様、おめでとうございます。

今回発表いただいた発表者の皆様、発表会までの間、大変、お疲れ様でした。また、ご審査いただきました審査委員の皆様、ご協力賜り誠にありがとうございました。

庁内に設置した樹木名版 の中から二種類の紹介

ハクチョウゲ

マリアー・APG等分類体系による
アカネ科 ハクチョウゲ属
エングラール分類体系による
アカネ科 ハクチョウゲ属
Serissa japonica
漢字名 白丁花 常緑小低木
フイリハクチョウゲなど



カナリーヤシ

マリアー・APG等分類体系による
ヤシ科 ナツメヤシ属
エングラール分類体系による
ヤシ科 ナツメヤシ属
Phoenix canariensis
漢字名 加那列椰子 別名 フェニックス 常緑小高木～高木 雌雄異株



「令和3年度国有林野事業業務研究発表会」 (職員投票)の結果、優秀賞受賞する。

今年度の「令和3年度国有林野事業業務研究発表会」では、新たな取組として、従来の林野庁長官賞及び協賛団体からの表彰に加え、国有林野事業に携わる各森林管理局・署の職員という同じ立場から、現場での実現可能性や工夫、有効性の観点で職員から優秀課題への投票を行いました。

四国局から、前年度の優秀賞の3課題を表彰候補課題(第135号に記載)としました。結果として

職員が選ぶ「令和三年度業務研究大賞」での「優秀賞」受賞 優秀賞課題

「ふるさと自然を育む大栃の治山 ～先人達の功績から学ぶ～」

黒岩 玲子(嶺北署(元高知中部署)) 前田 聖人(高知中部署)

受賞おめでとうございます。

平松 龍之典(四万十署)

村上 大輝(農林水産省輸出・国際局(元四万十署))

武山 泰之(四万十市 農林水産課(元安芸署))

木村 有希 中尾 栄二(愛媛署)

発表された皆様、お疲れ様でした。

編集後記 明けましておめでとうございます。

2022年 寅年 3年目のコロナ禍ですが、今年も体調に留意して日々の生活に感謝。

ご愛読よろしくお願ひ申し上げます。(技術普及課一同)

令和3年度四国森林・林業研究発表会開催



四国森林管理局長開会の挨拶

令和3年度四国森林・林業研究発表会 受賞課題一覧

(敬称略)

受賞名	発表課題	発表者	
		所属	氏名
四国森林管理局長賞 最優秀賞 (森林技術部門)	土佐備長炭の原木確保に向けたウバメガシ実生苗による更新の取組	安芸森林管理署 森林技術指導官	柳園 和男
四国森林管理局長賞 優秀賞 (森林ふれあい・地域連携部門)	「愛媛県固有種トキワバイカツツジの里帰り」への取組み報告	愛媛森林管理署 地域林政調整官 津島森林事務所 森林官補	谷本 明夫 木村 拓真
四国森林管理局長賞 優秀賞 (森林保全部門)	地形を活かしたニホンジカ防護柵設置の取り組み	高知中部森林管理署 首席森林官 " 地域技術官	森下 嘉晴 萩野 伸二
日本森林技術協会理事長賞 (森林技術部門)	点状複層林における上層木伐採について	計画課 企画係 嶺北森林管理署 主任森林整備官	西坂 志帆 北川 憲太郎
日本森林林業振興会会長賞 (森林ふれあい・地域連携部門)	地域との連携による入野松原の保全活動	四万十森林管理署 業務グループ係員 " 森林情報管理官	黒木 大海 平松 龍之典

受賞おめでとうございます。